**学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想**

**「ロードマップ２０２３」申請様式（書面審査フォーマット）**

*※　全体で45頁以内で記載ください（様式１～８含む）。頁数の上限の範囲内で図表等を含めることは差し支えありません*

*※　文字サイズは11ptで記載ください。*

*※　継続掲載を希望するロードマップ2020掲載計画については、ロードマップ2020審査時からの進展が分かるように記載してください。*

*※　イタリック体の指示書きは、提出時に削除ください。*

**基本情報１：計画名称等**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究分野**  **※プルダウンリストから選択** | | | **研究分野の内容**  **※科学研究費助成事業審査区分表の小区分の内容の例を参考** | | |
| アイテムを選択してください。 | | |  | | |
| **これまでの**  **ロードマップ掲載**  **※掲載年に** | | 2010 2012 2014 2017  2020（継続掲載希望） | | **これまでの「大規模学術フロンティア促進事業」での支援の有無** | 有・無  ※有の場合  支援期間（　　　～　　　） |
| **計画名称（日・英）** | | | | | |
| (日) |  | | | | |
| (英) |  | | | | |
| **実施機関（中核機関）** | | | | | |
|  | | | | | |
| **連携機関** | | | | | |
|  | | | | | |

（※研究分野は、人文・社会科学、基礎生物学、統合生物学、農学、食料科学、基礎医学、臨床医学、健康・生活科学、歯学、薬学、環境学、数理科学、物理学、地球惑星科学、情報学、化学、総合工学、機械工学、電気電子工学、土木工学・建築学、材料工学、融合領域 から選択。）

**基本情報２：提案者情報**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **区分** | **氏名** | **所属・役職** |
| **提案者** |  |  |
| **計画代表者** |  |  |
| **事務連絡担当者** | 住所 |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |

**０．全体概要**

*次頁以降に記載の評価の観点１．～１０．までの内容を含めて、１枚以内で概要を記載ください。*

**（概要）**

**１．年次計画**

**＜様式１＞（年次計画）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目  （研究テーマ） | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | 10年目 以降 | 備考 |
| １．○○○○○○  　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 成果指標 | ※ |  |  |  | ※ |  |  |  |  | ※ |  |  |
| ２．○○○○○○  　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 成果指標 | ※ |  |  |  | ※ |  |  |  |  | ※ |  |  |
| ３．○○○○○○  　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 成果指標 | ※ |  |  |  | ※ |  |  |  |  |  |  |  |

*必要とする年次までの予定を矢印等で記入し、中間年度（5年目目途）及び最終年度における成果指標を、原則定量的な指標として記載ください。*

*施設・設備等の整備計画の場合は、施設完成後数年以内の初期運用期間を加え必要な年限を設定ください。*

*○項目（研究テーマ）について*

*・当該計画期間内に目指す科学目標や達成水準が分かるように記入ください。*

*・施設・設備等の整備の項目は、主パートの開発設計、建設、調整試験、運用等を記入ください。*

*・研究組織構築、研究推進の具体的準備、共同利用運用等についても必要に応じて項目を立てて記入ください。*

*○成果指標について*

*学術的に達成し得る内容を記載するのではなく、それにより実現・達成が見込まれる内容を記載いただくようお願いいたします。*

*（成果指標例；学術研究等を行う中核的な拠点となること（論文数等）、国際共同研究を先導する機能を果たすこと（国際共同研究の実施件数等）、若手研究者の育成やその活躍機会の創出に貢献すること（共同利用・共同研究に参画するポストドクターを含む若手研究者数等）、今後建設を予定している大型施設については、その過程でもたらされる技術的成果、施設等の整備状況を記載等）*

*※記入スペースが足りない場合は、枠を広げるなど様式を修正して頂いても構いませんが、１頁以内となるように作成ください。*

**１．科学目標**

【具体的視点】

実施期間内に目指す科学目標や達成水準に関する以下の点について、図表（絵や写真含む。）やエビデンスデータを用いつつ、具体的かつ明確に記述ください（これまでの実績等を踏まえ、可能な限り定量的目標を含めて記載）。

・科学目標が明確であり、目指す達成水準が示されているか。

・達成に至るまでのマイルストーンとして、計画の中間点や進捗状況に応じた目標・達成水準が適切に設定されているか。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

**２－１．計画の学術的意義**

**（概要）***７行以内で記述ください。*

【具体的視点】

新たな知を創出・蓄積し、継承・発展させ、人類社会の持続的発展の基盤を形成するかという観点や新たな知への挑戦を通じて広く社会で活躍する人材を育成し、現在及び将来の人類の福祉に寄与するかという観点から計画の学術的意義を記載ください。

具体的には、以下の点について、図表（絵や写真含む。）やエビデンスデータを用いつつ、具体的かつ明確に記述ください。

・研究者の知を基盤にして独創的な探求力により新たな知を開拓できるか。（挑戦性）

・学術研究の多様性を重視し、細分化された知を俯瞰し総合的な観点から捉えているか。（総合性）

・異分野の研究者や国内外の様々な関係者との連携・協働により新たな学問領域を生み出すことができるか。（融合性）

・世界の学術コミュニティにおける議論や検証を通じて研究が持つ優位性や位置付けを明確にすることにより、世界に通用する卓越性を獲得するなど世界に貢献することができるか。（国際性）

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

**２－２．計画の学術的意義（経緯）**

【具体的視点】

２－１．に関連して、関連する国内外の研究動向やより広い学術分野の中での本計画の位置付け等を踏まえ、本計画を構想するに至った学術的背景や経緯について記述ください。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

**２－３．計画の学術的意義（実績）**

【具体的視点】

２－１．に関連して、本計画に関連するこれまでの活動実績や研究成果、準備状況等について記述ください。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

**３．研究者コミュニティの合意・サポート体制**

【具体的視点】

・研究者コミュニティの合意形成の状況は明確か。

・研究者コミュニティからの計画の実施に必要な人材等が確保されているか。

について、図表（絵や写真含む。）やエビデンスデータを用いつつ、具体的かつ明確に記述ください。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

**（その他資料）***参考として国内外の研**究者コミュニティ（関連学会等）からのサポートレター等について別途提出してください。その際、国内の関連学会等のものを必ず1つは提出してください。提出の際は、添付資料様式「研究者コミュニティ（関連学会等）からのサポートレター等一覧」を表紙にしてください（当該資料は全体上限頁数に含まない）。*

**４．若手研究者等の人材育成**

【具体的視点】

・若手研究者等（技術職員、研究支援者等含む）が多様な経験を積み、活躍することができる場が積極的に与えられるなど、各研究者等の将来を見据えたキャリア形成支援等が適切に行われているか。

・当該計画を将来的に支える人材を育成する観点から、若手研究者等を責任ある立場に積極的に登用するなど、持続的な計画推進のための取組が行われているか。

について、図表（絵や写真含む。）やエビデンスデータを用いつつ、具体的かつ明確に記述ください。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

**５．計画の実施主体**

【具体的視点】

・実施主体における計画の推進体制は明確になっているか。

・多数の機関が参画する場合、責任体制と役割分担は明確になっているか。

について、別途添付の様式２「実施機関における意思決定の状況」に加え、図表（絵や写真含む。）やエビデンスデータを用いつつ、具体的かつ明確に記述ください。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

**＜様式２＞実施機関等における意思決定の状況**

*本計画を推進するにあたって、実施機関における意思決定の状況についてそれぞれ、○または×を御記入の上、現在の状況を御説明ください。また、参画する連携機関等での意思決定の状況についても御説明ください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 役員会などで審議を行い、予算措置が見込まれる場合は、実施機関として推進する承認を得ている。 |  |
| 実施機関の長（学長・機構長など）へ計画について説明し、予算措置が見込まれる場合は、機関として推進する了承を得ている。  　※提案者が実施機関の長の場合は「○」を御記入ください。 |  |

（実施機関における現在の状況について）

*・実施機関内での会議の議事録など当該状況を説明する資料がある場合は、参考資料として資料の最後に添付すること。**（当該参考資料は全体上限頁数に含まない。）*

（連携機関等での意思決定の状況について）

**６．共同利用・共同研究体制**

【具体的視点】

・共同利用・共同研究の実施体制が確立されているか。

・幅広い大学等の研究者、若手を含む多様な研究者が参画できるか。

について、別途添付の様式３「共同利用・共同研究計画」に加え、図表（絵や写真含む。）やエビデンスデータを用いつつ、具体的かつ明確に記述ください。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

＜様式３＞（共同利用・共同研究計画）





**７．計画の妥当性**

【具体的視点】

・計画の準備スケジュール・実施スケジュールが明確になっているか。実施可能なスケジュールとなっているか。

・建設費及び運用費は妥当か。十分検討されているか。

・予算計画、人員計画（研究者コミュニティからの人材も含む）は妥当か。十分検討されているか。

・計画の準備状況（予備研究・技術開発・体制整備）は着実になされているか。

・建設終了後の運用計画が十分に検討されているか（施設・設備等の老朽化対策含む）。

・計画終了後のコミュニティへの波及効果、将来展望はどうか。

について、別途添付の様式４「予算計画」、様式５「人員計画」、様式６「施設・設備の詳細」、様式７「計画期間終了後の方針など」に加え、図表（絵や写真含む。）やエビデンスデータを用いつつ、具体的かつ明確に記述ください。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*



＜様式４＞（予算計画）

④国費部分で実施する主な内容及び国費での支援が必要である理由

⑤自己資金部分で実施する主な内容及び自己資金獲得予定・見通し

*計画が実施された後、自己資金で費用を負担できる内容や、自己資金の獲得計画について記入ください。*

*※計画していない場合は、その旨、記入ください。*

⑥国際分担の見通し

*計画が実施された後、国際分担で費用を負担できる内容や、国際分担の計画について国際交流協定等の締結の状況等とともに、国際分担金の確保の見込み等について具体的に記入ください。*

*※計画していない場合は、その旨、記入ください。*

（国際交流協定等の締結状況）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名称 | 形態 | 締結年月 | 終了予定年月 | 相手国 | 機関名 | 国内機関名 | 概要（研究分野、協定に基づく活動等） |
| *（例１）●●大学と■■研究所における学術交流に関する協定* | *協定* | *2021年4月* | *2026年3月（5年ごとに自動更新）* | *英国* | *◆◆研究所* | *●●大学（▲▼学長）* | *★★分野における☆☆☆プロジェクトの実現に向けた各国の貢献・協力内容を定めたもの* |
| *（例２）☆☆☆プロジェクトに係る運営に関する覚書* | *協定* | *2022年4月* | *2025年3月* | *インド* | *◆◆大学◇◇研究所* | *●●研究所（▲▼所長）* | *☆☆☆の建設開始までのプロジェクトの運営について定めたもの* |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

*※記入スペースが足りない場合は、枠を広げるなど様式を修正して頂いても構いません。*

＜様式５＞（人員計画）

①人員計画

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 準備・立上げ期 | | | 建設期/組織整備 | | | 運用期/研究運用 | | |
| １年目～○年目 | | | ○年目～○年目 | | | ○年目以降 | | |
| ① | ② | ③ | ① | ② | ③ | ① | ② | ③ |
| 機関内の人員 | コミュニティからの支援 | ①②以外の機関外からの支援 | 機関内の人員 | コミュニティからの支援 | ①②以外の機関外からの支援 | 機関内の人員 | コミュニティからの支援 | ①②以外の機関外からの支援 |
| シニアレベル研究者 （教授、准教授　等） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ポスドクレベル研究者 （講師、助教、ﾎﾟｽﾄﾞｸ　等） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 技術職員 （ｴﾝｼﾞﾆｱ、ﾃｸﾆｼｬﾝ　等） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究支援者（URA等） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 事務職員 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計（人） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

②役割及び確保の方針

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 役割 | 役割 | 確保の方針 |
| シニアレベル研究者 （教授、准教授　等） | *プロジェクトリーダー ○○○○に関する主担当* | *機関内の人員を充当* |
| ポスドクレベル研究者 （講師、助教、ﾎﾟｽﾄﾞｸ　等） | *○○○○の推進 ○○○○担当* | *国費により雇用* |
| 技術職員 （ｴﾝｼﾞﾆｱ、ﾃｸﾆｼｬﾝ　等） | *○○○○○の開発・製作* | *自己資金により雇用* |
| 技術職員　※保守・メンテナンス等担当 （ｴﾝｼﾞﾆｱ、ﾃｸﾆｼｬﾝ　等） | *○○○○○の保守・メンテナンス等* | *自己資金により雇用* |
| 研究支援者（URA等） |  |  |
| 事務職員 | *○○○○に関する事務作業* | *自己資金により雇用* |
| その他 |  |  |

*機関内人員について役割及び確保方針を記載ください。*

*※記入スペースが足りない場合は、枠を広げるなど様式を修正頂いても構いません。*

＜様式６＞（施設・設備の詳細）

①本計画に関連する主な現有設備

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究機関 | 設備名 | 仕様 （形式・性能） | 専用・共同 利用の別 | 設置 年度 | 備考 |
| *○○大学 ○○研究所* | *○○○○* |  | *共同利用* | *平成 ○年度* |  |
| *□□研究所* | *□□□□* |  | *共同利用* | *平成 ○年度* |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

*この研究計画のために利用可能な主な現有設備について記入ください。*

*様式１（年次計画）、様式４（予算計画）との対応が分かるように記載ください。*

②本計画において新たに整備を行う大型施設の概要（該当する計画のみ）

*様式１（年次計画）、様式４（予算計画）との対応が分かるように記載ください。*

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設に 要する期間 | 件名 | 建設額 （百万円） | 設置機関 | 建設用地の状況 （該当に○を記入） | |
| *○年* |  |  | *○○大学 ○○研究所* | 建設用地取得済 |  |
| 建設用地未取得 |  |
| 建設用地未定 |  |

＜妥当性・必要性＞

＜現存又は建設予定の競合する海外の大型施設との比較＞

＜大型施設の老朽化対策（保守・メンテナンス等の計画）＞

③本計画において新たに整備を行う大型施設に関する地域住民からの支持（該当する計画のみ）

|  |  |
| --- | --- |
| 建設用地の状況 （該当する全てに○を記入） | |
| 建設用地住民との合意協定調印済 |  |
| 建設用地全ての自治体との合意協定調印済 |  |
| 建設用地に関する反対運動有 |  |

＜これまで経緯・現在の状況等（反対運動有の場合は具体的に記載ください）＞

④本計画において新たに整備が必要な主な設備の明細

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 購入予定 時期 | 品名・仕様 | 単価 （百万円） | 数量 | 金額 （百万円） | 設置機関 | 妥当性・必要性 |
| *○○年目* |  |  |  |  | *○○大学 ○○研究所* |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

*様式１（年次計画）、様式４（予算計画）との対応が分かるように記載ください。*

**＜様式７＞計画期間終了後の方針など**

**○計画期間終了後の方針（国からの支援が終了した後の考え方）について**

*本欄には、次の点が明確に読み取れるよう留意して記述ください。*

*・国からの支援が終了した後の考え方*

**○当初の計画とおりに進まない場合の考え方（予算の措置状況等を踏まえ、当初計画の大幅な変更が必要となった場合）について**

*本欄には、次の点が明確に読み取れるよう留意して記述ください。*

*・計画通りの予算措置とならなかった場合の考え方*

*・国からの支援が計画期間の途中で打ち切られた場合の考え方*

**８．戦略性**

【具体的視点】

・当該分野での世界トップレベルの成果をあげ、我が国の強みをさらに伸ばすこととなるか。

・他分野への波及効果等はどうか。

・国際貢献や国際的な頭脳循環につながるか。

・将来的な我が国の成長・発展につながるか。

・計画を実施しないことによる日本に対する研究者コミュニティからの信頼喪失や学術における国際的プレゼンスの低下等の影響はどうか。

・産業界への波及効果等はどうか。

について、図表（絵や写真含む。）やエビデンスデータを用いつつ、具体的かつ明確に記述ください。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

**９．緊急性**

【具体的視点】

・早期に実施することの重要性と国際的競争・協力において、我が国が得られるメリットや優位性は何か。

・実施の遅れにより危惧される我が国への影響はどのようなものか。

について、図表（絵や写真含む。）やエビデンスデータを用いつつ、具体的かつ明確に記述ください。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

**１０．社会や国民からの支持**

【具体的視点】

・社会や国民に計画の意義・必要性について説得力をもって説明することができるか。

・長期間にわたり巨額の国費を投入することについて、社会や国民に支持していただけるか。

・地域社会の行政及び住民との信頼関係が構築されているか。

について、図表（絵や写真含む。）やエビデンスデータを用いつつ、具体的かつ明確に記述ください。

**（概要）***７行以内で記述ください。*

**（本文）***各実施機関において、自由に記述ください。*

**＜様式８＞**

**ロードマップ2020における主な課題・留意点等への対応について**

*※本様式は、ロードマップ2020掲載計画で継続掲載を希望するもののみ作成してください。*

**（１）ロードマップ2020において指摘された「主な課題・留意点等」**

***※ロードマップ2020に記載の「主な課題・留意点等」を転記してください。***

**（２）（１）に対する対応状況**

**＜添付資料様式＞**

**研究者コミュニティ（関連学会等）からのサポートレター等一覧**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| NO. | 学会等名 | 会員数  (R5.4.1現在） | 備考  （参考情報等） |
| *1* | *○○○○法人○○○○○○○学会* | *○○○○人* |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

*※本様式を表紙としてサポートレター等を別途御提出ください。*